

第34回（令和元年度）
商業経済検定試験問題
〔ビジネス基礎〕

解答上の注意

1. この問題のページは2から15までです。
2. 解答はすべて別紙解答用紙に記入しなさい。
3. 問題用紙の表紙に受験番号を記入しなさい。
4. 文字または数字で記入するもの以外はすべて記号で答えなさい。
5. 計算用具などの持ち込みはできません。
6. 制限時間は40分です。

※ 試験終了後、問題用紙も回収します。

① 次の(1)～(5)に最も関係の深いものを解答群から選びなさい。

- (1) 消費者がいくつかの店舗で品質、価格、デザインなどを比較・検討して購入するもので、価格が比較的高価な家電製品、一般衣料品などの商品。
- (2) 消費者が居住地や勤務地の近くの店舗で日常的に購入するもので、同種の商品で品質の差がなく価格が比較的安価な一般食料品、日用雑貨、週刊誌などの商品。
- (3) 企業が製品を製造するために購入するもので、完成品の一部を構成するモーター、歯車、ネジなどの商品。
- (4) 企業が製品を製造するために購入するもので、完成品の一部を構成するものではないが、製造に必要な燃料、作業服などの商品。
- (5) 消費者が企業の名声や技術力、品質、ブランド、性能などを信頼し、時間をかけて比較・検討し購入するもので、価格が高価な楽器、宝飾品などの商品。

【解答群】

ア. 最寄品 イ. 買回品 ウ. 専門品 エ. 部品 オ. 消耗品

② 次の(1)～(5)のうち、条件に当てはまるものにはAを、それ以外にはBを記入しなさい。ただし、すべてに同一の記号を記入した場合は5問全部を無効とします。

【条件】 サービス業に属するビジネス

- (1) ホテルで、観光客の宿泊場所を提供するビジネス
- (2) 温室ハウスで、メロンやイチゴを栽培し収穫するビジネス
- (3) 住宅で、個人から依頼を受けて警備を行うビジネス
- (4) レストランで、顧客から注文を受けて料理を提供するビジネス
- (5) 工場で、原材料を加工し製品を製造するビジネス

③ 次の(1)~(5)の□に当てはまるものを解答群から選びなさい。

企業が商品を生産してビジネス活動を行うには、生産要素が必要である。まず、工場や事務所などを建てる「土地」が必要である。「土地」には、水や鉱物などの天然資源も含まれている。次に、商品の生産に用いられる工場、機械といった「(1)」が必要である。そして、経営者や企画立案者のほか、商品を生産する作業員といった「(2)」が必要である。

これらの生産要素には限りがある。しかし、消費者の欲求には限りがない。消費者の欲しいと考えるすべての商品を生産するのに十分な生産要素がないことを、生産要素の(3)という。そのため、企業は消費者の無限の欲求を的確にとらえ、有限の生産要素を使っていつ何をどれだけ生産するかという意思決定をする。

このように、複数の選択肢から一つの選択肢を選んだ場合、もう一方あるいは他の選択肢を断念せざるを得ない状況を(4)という。企業はこのような状況のもと、断念した選択肢を選んでいれば得られたであろう利益を失うことになる。この利益を(5)という。そこで企業は事前にそれぞれの選択肢から得られる利益を正しく見積もり、より合理的な意思決定をすることが必要になる。このとき、より正しい意思決定をするためには信頼性が高い「情報」が重要な生産要素となる。

【解答群】

ア. 資本 イ. 希少性 ウ. 機会費用 エ. 労働力 オ. トレード・オフ

④ 次の(1)~(5)について、下線部が正しい場合は○を記入し、誤っている場合は解答群から正しいものを選び記号で答えなさい。ただし、すべてに○を記入した場合は5問全部を無効とします。

- (1) 買い物をしたとき、銀行が発行するキャッシュカードを利用して、即時に利用者の銀行口座から代金が引き落とされる電子決済のしくみを、クレジットカードという。
- (2) 産地名や品種名、商標などが用いられ、一定の品質が社会的に認められたことを示す商品の通り名を、銘柄という。
- (3) A社の先月の売上高は¥5,000,000であった。今月の売上高は¥5,750,000となり、先月に比べて15%増加した。
- (4) 日数が何日間あるかを両端入れで計算すると、令和2年1月21日から令和2年1月28日までは、8日となる。
- (5) 海外出張のため¥220,000をドルに両替すると、\$20,000となる。
(ただし、「\$ 1 = ¥110」とし、手数料は考えない)

【解答群】

ア. 仕様書 イ. 5,075,000 ウ. デビットカード エ. 2,000 オ. 7日

⑤ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

コンビニエンスストア向けに総菜を製造するA社は、食品工場がある敷地内で新たに植物工場を作り、総菜の原材料であるリーフレタスの自社栽培に着手している。

一般的に野菜の市場価格は、(a)生産者が売りたいと思う欲求の量と、消費者が買いたいと思う欲求の量との関係で決まる。とくに野外の畑で野菜を育てる露地栽培では、季節の移り変わり、天候不順、異常気象などによる収穫量の減少が原因となり、市場価格の高騰をまねくことがある。これは、野菜を原材料として使うA社にとって、製造コストの増加をまねく大きな要因ともなり得る。

そのようななか、A社は植物工場でリーフレタスを栽培し、年間を通じて安定した価格で原材料の調達ができるようになった。植物工場の栽培室では、LED光源、温度、湿度、二酸化炭素の濃度、気流などの栽培環境を自動制御し、均一な色と大きさで同じ食感のものを連続して生産できるという。

植物工場で収穫されたリーフレタスは、隣接する食品工場に搬入され、すぐにサラダやサンドイッチに加工されて商品となる。これらの商品は、(b)小売業者と製造業者が共同で企画・開発し、小売業者のブランド名で販売している商品としてコンビニエンスストアの店舗へ即座に届けられる。また、他の製造業者のブランド名で販売されている商品よりも価格が安いうえ、ビタミンCが豊富な高付加価値商品として人気が高い。

A社の植物工場は、農業従事者の減少や高齢化の課題を解消しつつ、安定した価格でいつでも総菜を提供できる、という豊かな暮らしを支えるビジネスモデルとして注目されつつある。

問1. 下線部(a)を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 需要量 イ. 供給量 ウ. 流通量

問2. 本文の主旨から、下線部(b)を何というか、正しい用語を完成させなさい。

⑥ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

A物産株式会社の仕入課の山田さんは、新製品の販売を担当するB製作所営業部の青木さんと10時に打合せをする約束をしている。以下は、受付係による受付対応から、(a)山田さんが訪問者の青木さんと社内の応接室で公式な打合せを行うまでのやり取りである。

青 木：「B製作所の青木と申します。仕入課の山田様と10時に面会の約束をしております」

(約束の3分前にA物産株式会社へ出向いた青木さんは、受付係に(b)名刺をさし出した)

受 付：「B製作所の青木様でいらっしゃいますね。ただいま山田に連絡をとりますので、少々お待ちください」

(受付係は、社内電話で仕入課へ連絡した。すると、山田さんが先客との面談を終え、見送りをするところなので少し待ってもらおうよう、仕入課の社員から指示をうけた)

「申し訳ございません。山田はただいま来客対応中ですが、すぐに□□。応接室へご案内いたしますので、どうぞこちらへおいでください」

(受付係が青木さんを応接室へ案内した)(間もなく、山田さんが応接室へ入った)

山 田：「たいへんお待たせいたしました。仕入課の山田でございます」

青 木：「B製作所営業部の青木と申します。本日は弊社の新製品のサンプルをお持ちしました」

(山田さんと青木さんは、お互いに(c)30度の角度のお辞儀をし、続けて名刺交換をした)

山 田：「(d)どうぞ、こちらへおかけください」(山田さんは状況に適した席次をすすめた)

(青木さんは、新製品のサンプルを机の上にならべ、プレゼンテーションを始めた)

問1. 下線部(a)のようなコミュニケーションを何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 間接的コミュニケーション
- イ. フォーマルコミュニケーション
- ウ. インフォーマルコミュニケーション

問2. 下線部(b)の名刺の渡し方として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 縦書きの名刺を、相手を読みやすいように相手から名前が読める向きにして渡した。
- イ. 縦書きの名刺を、相手に個人情報が見えないように裏返しにして渡した。
- ウ. 縦書きの名刺を、相手が両手を使って受け取りやすいように横向きにして渡した。

問3. 文中の□□に入ることばとして、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 参ります
- イ. いらっしゃいます
- ウ. 来ます

問4. 下線部(c)を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 会釈
- イ. 普通礼
- ウ. 最敬礼

問5. 下線部(d)の山田さんの対応として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 来訪者の青木さんにドアから一番近い席をすすめ、自分がその横の下座(末席)に座った。
- イ. 来訪者の青木さんにドアから一番近い席をすすめ、自分が上座(上席)に座った。
- ウ. 来訪者の青木さんにドアから一番奥の席をすすめ、自分が下座(末席)に座った。

7 次の文章を読み、問いに答えなさい。

便利さを求める消費者にとって、レジ袋は必要不可欠なプラスチック製品の一つである。ここでは、包装資材の研究開発と製造をするA社を通し、企業の環境問題への取り組みをみている。

これまでA社は、石油を原料とするプラスチック製レジ袋の改良を繰り返し、薄く軽量化しつつも耐久性があるレジ袋を開発してきた。これは、環境問題に対する社会の関心が高まり、(a)製造時に使う石油資源の削減や、廃棄時のゴミの排出量を削減することが求められてきたからである。

また、^こ枯渇が懸念される石油資源と地球温暖化の課題を解消するため、A社はトウモロコシを原料とするバイオマスプラスチック製レジ袋を開発した。この背景には、原料となる植物が成長する過程で光合成により吸収する二酸化炭素量と、レジ袋の焼却で排出される二酸化炭素量が同等とする「カーボンニュートラル」の考えがある。あるスーパーマーケットが採用したA社製のレジ袋には、「植物由来^ゆのレジ袋・バイオマス原料100%」と印字されている。環境意識の高まりとともに、企業の社会的責任(CSR)として植物由来のバイオマスプラスチックを採用する小売店が増えている。

このほかにも、A社は新しいレジ袋の素材に関する研究開発へ積極的に投資している。例えば、土の中に埋めることで微生物の力で分解される生分解性プラスチックと、海中で分解される生分解性プラスチックの開発である。前者は、不法投棄やゴミの埋め立てが土地に及ぼす課題、後者は海洋に漂うマイクロプラスチックが海洋生物の生態系に及ぼす課題を解決するものと期待される。このような(b)環境問題に対するA社の取り組みに社会から大きな関心が寄せられている。

新しい素材を開発する企業が人々の暮らしと環境問題にどう応えるのか、A社の技術力に注目していきたい。

問1. 下線部(a)は「3R」のどの活動にあたるか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. リデュース(Reduce) イ. リユース(Reuse) ウ. リサイクル(Recycle)

問2. 本文の主旨から、下線部(b)の内容として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. A社は、環境問題へ取り組む企業の精神を宣伝して知名度をあげることをめざし、研究開発への投資よりも広告費を倍増して広報活動を進めている。
- イ. A社は、環境問題への積極的な投資を控えることで利潤追求をめざし、環境への負荷が増すがコストが低い石油由来の製品を積極的に生産し続けている。
- ウ. A社は、環境問題を技術力で解決することをめざし、社会的課題への投資を新たなビジネスチャンスととらえ、新技術の研究開発や商品化を進めている。

⑧ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

A社はパスタを製造する食品メーカーである。ここではA社の事業を通し物流の活動のみてみる。まず、A社の工場では、パスタの原材料である小麦粉を機械で練り上げて棒状に加工・乾燥し、これを均一の長さに切って500g、1kgといった規定量ごとの商品パッケージに個装する。そして、(a)決められた数量の商品を段ボール箱に詰めて包装するという工程になっている。

物流では、段ボール箱が必要不可欠である。例えば、A社では、一定数量の段ボール箱をパレット上に積載し、工場から倉庫へフォークリフトで運搬している。また、海外へ輸出する際には、一定数量の段ボール箱をコンテナに収納し、船舶で迅速に輸送している。

このように、A社は(b)パレチゼーションやコンテナリゼーションといった、標準化されたパレットやコンテナを使って商品をひとまとめにすることで荷役を機械化し、効率的に輸送できるしくみを実現している。これは、異なる輸送手段を経由しても、貨物を取り崩さずに一貫して輸送・保管ができ、輸送時間の大幅な短縮につながるものである。

さらにA社は、包装の外側から商品情報を読み取って商品管理が行えるよう、(c)商品を識別するため、段ボール箱や包装材に印字もしくは貼り付けられた物流用バーコードを採用している。バーコードをスキャナで読み取ることで、包装を開封せずに中身の商品と数量を確認でき、入出荷の管理や棚卸管理など、情報システムの活用で効率的な物流ができるからである。

段ボール箱に入ったA社のパスタは、倉庫から搬出後、各店舗へ配送される。近年、段ボール箱に印刷されたPOP広告を活かし、箱の一部を切り取ったカットケース陳列をする店舗も増えてきている。

問1. 下線部(a)のような物流活動の目的として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 商品の破損や変質を防ぎ、商品を保護するとともに、輸送や保管を効率的に進めるため。
- イ. 商品の切断、組み立て、ラベル貼りをするとともに、物流に適した形状に加工するため。
- ウ. 商品の品質管理や在庫管理をするとともに、生産と消費の時間的隔たりを埋めるため。

問2. 下線部(b)を何というか、カタカナを補って正しい用語を完成させなさい。

問3. 下線部(c)を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. EDI
- イ. RFID
- ウ. ITFコード

㊦ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

近年、全国的に百貨店が閉店するニュースが多いなか、人口密度が高い都市部にある百貨店のA店は、昔も今も顧客のニーズを的確にとらえ、多くの顧客を集めている。

A店は、広い売り場面積を生かして豊富な商品を陳列し、(a)一つの店舗で、複数の必要な商品をすべて買いそろえることができることに特長をもつ大規模小売商である。A店の店舗は、下層階に化粧品、婦人服、紳士服売り場、中上層階に生活雑貨やリビング用品、子供服やおもちゃ、そして呉服、宝飾品売り場がある。さらに最上階には飲食店が並ぶレストラン街がある。

品ぞろえに関しては、バイヤーとよばれる社員が担当する。世界中の国々や全国各地から厳選した商品を取りそろえるバイヤーは、A店のような、(b)商圏が広く、高い集客力をもつ店舗づくりに貢献している。A店のバイヤーの仕事は、世の中の流行と売れそうな商品を見極め、仕入れる商品の価格と数量を取引先と交渉し、店舗に並べるところまでを担う。さらに新しいテナントを誘致したり、旬の食材や民芸品を取りそろえて物産展を開催したりと、新たな企画と話題づくりに日々奮闘している。

接客に関しては、豊富な商品知識と高い接客技術をもつ販売員が担当し、(c)店舗内で販売員が顧客と一対一で対話をしながら対応する販売方法でホスピタリティを大切にしている。常連客のなかには、販売員との会話を楽しみにして来店する人も多いという。

また、テナントとして出店する高級ブランド店に百貨店の社員を派遣することもある。話題性がある品ぞろえと確かな接客技術に重点を置いたA店は、店舗内外から高く評価されているのである。

問1. 下線部(a)を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. ウィンドウショッピング
- イ. ショールーミング
- ウ. ワンストップショッピング

問2. 下線部(b)の説明として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 商品やサービスを購入するために来店する顧客の地理的な範囲が広く、遠方からでも顧客を呼び込む魅力があり、来店する顧客数が多い店舗である。
- イ. 商品の販売やサービスの提供をする業務を除き、委託先に任せる仕事の範囲が広く、販売員が接客に専念する時間を多く確保でき顧客満足度が高い店舗である。
- ウ. 商品やサービスの情報を顧客に伝達できる範囲が広く、携帯端末を使って顧客同士が情報の共有を行うので広告宣伝費の支出が少ない店舗である。

問3. 下線部(c)を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 訪問販売
- イ. 対面販売
- ウ. セルフサービス

10 次の文章を読み、問いに答えなさい。

A社は、しょうゆを製造・販売している食品メーカーである。2018年度の決算は、前年度と比較すると、売上高、営業利益ともに増収増益であった。

A社の(a)経営理念は右のとおりである。

私たちA社グループは、

1. 「消費者本位」を基本理念とする
2. 食文化の国際交流をすすめる
3. 地球社会にとって存在意義のある企業をめざす

A社は、お客様相談室を設置し、消費者から商品に関するさまざまな相談を受けている。「しょうゆの容器を開栓すると、酸化が起きて、色は黒く、味は悪くなっていく。また同時に、しょうゆの香りがなくなってしまう」という声や、「いつでも新鮮なしょうゆが欲しい」という消費者の要望に応えるため、「やわらか密封ボトル」を開発した。その結果、(b)品質劣化を防ぐとともに、注ぎやすいといった点が消費者から評価されて大ヒット商品となった。

また、A社は食文化の国際交流をすすめる取り組みを行っている。1967年、アメリカにしょうゆの製造販売会社を設立した。企業が海外で事業を営むためには、十分な資金が必要になる。そこでA社は、(c)資金調達として工場の建設や機械、備品などを購入するときに必要な資金と従業員の賃金や販売促進のための経費など企業が日々のビジネスを行うのに必要な資金をそれぞれ調達し、アメリカに進出した。そして、店頭での試食販売を行い、しょうゆと肉料理との相性の良さをアピールし、しょうゆの認知度を高めていった。今日では、A社の売上高の45%程度は海外での売り上げとなり、日本伝統の調味料であるしょうゆは、世界中に知られるようになった。

さらに、A社は「容器包装リサイクル法」や「持続可能な開発目標(SDGs)」をふまえて、「プラスチック資源循環アクション宣言」を掲げ、持続可能で環境に優しい容器の開発をすすめている。

このようにA社は経営理念に掲げたとおり、グローバルな経営を展開したことで、世界的に活躍する企業になった。企業が長期にわたり存続、成長するためには、ビジネスに必要な費用を上回る収益を上げ、利益を出さなくてはならない。そのために、企業は責任ある事業活動を行い、社会に貢献することが望まれる。

問1. 下線部(a)の説明として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 企業活動を行ううえで、服装や身だしなみ、言葉遣いなど、ビジネスを行う際のマナー
- イ. 企業活動を行ううえで、達成したい理想や目標であり、企業を構成する人々の行動指針
- ウ. 企業活動を行ううえで、企業の財政状態や経営成績を、具体的に示した報告書

問2. 本文の主旨から、下線部(b)の理由として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. A社は、ビジネスに必要な費用を上回る収益を上げ、利益を出すことができたから。
- イ. A社は、食文化の国際交流をすすめる取り組みを積極的に行ったから。
- ウ. A社は、消費者のニーズを適切に分析し、消費者が求めていた商品を開発したから。

問3. 下線部(c)を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 設備資金
- イ. 運転資金
- ウ. 短期資金

11 次の文章を読み、問いに答えなさい。

わが国は、税収を主な財源として、さまざまな行政サービスを提供している。納税は国民の義務である。納税の義務を負うのは個人だけに限らず、株式会社や協同組合などの法人も含まれる。ここでは、法人が納める税金についてみる。

法人が納める税金は、国が課す国税と地方公共団体が課す地方税に大きく分けられる。国税の一つに、(a)法人税がある。この税金は、わが国の主要な税収源となっている。また地方税には、法人が、その事業所を置いている都道府県および市区町村に納める税金として、法人住民税がある。さらに、法人事業税や(b)法人が保有する土地や建物、機械装置などに課せられる税金などがある。

法人が払わなければならない税金の納め方は、(c)確定申告のように、納税者がその課税期間の税額を計算し、税金を納める方式が原則である。

法人は、個人と同様に、納税の義務を果たさなければならない。納付する金額を不正に申告することは絶対に許されず、法律によって処罰される。社会の一員として、良心をもって行動することが求められている。

問 1. 下線部(a)の説明として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 法人が、一事業年度に得た利益(所得)に対して課せられる税金
- イ. 法人が、一定金額以上の領収書発行または約束手形振出の場合に課せられる税金
- ウ. 法人が、商品の販売やサービスの提供に対して課せられる税金

問 2. 下線部(b)を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 自動車税
- イ. 固定資産税
- ウ. 印紙税

問 3. 下線部(c)の制度を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 賦課課税制度
- イ. 源泉徴収制度
- ウ. 申告納税制度

12 次の文章を読み、問いに答えなさい。

A社は、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックのサーフィン競技会場近くに飲食店を開店しようとして計画し、2019年7月4日にタピオカ入りドリンクを販売する店舗を開店した。

タピオカ入りドリンクを販売するにあたり、A社は、プラスチック製のストローから、環境問題に配慮した、紙製のストローを使用することにした。

A社は紙製のストローを、X商会から(a)価格^{たて}は建に基づいて決め、1箱(2,000本入り)6,000円のものを30箱仕入れた。また、A社はタピオカをY商事から、(b)1袋(1kg入りにつき)1,500円のを40袋仕入れ、仕入諸掛3,000円を支払った。

A社は開店にあたり、タピオカ入りドリンクを定番のミルクティーだけではなく、抹茶や炭酸、野菜やフルーツのスムージーなど幅広く選ぶことができたようにした。また、紙製のストローを使用することで地元の新聞社の取材を受け、新聞記事として掲載されたため、開店前から注目されるようになった。

A社は開店初日、開店イベントとして、(c)タピオカ入りドリンクを予定売価400円のところで、予定売価の2割引きで販売すると500個を売り上げた。A社は幸先の^{さいさき}良いスタートを切ることができた。

2020年夏、東京オリンピック・パラリンピックが開催される。大会期間中は大勢の観光客の来店が見込まれるため、A社は、おもてなしの心をもって、海外からの観光客にも対応できるように、英語と日本語での接客を実施することを考えている。

問1. 下線部(a)の説明として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 商品の価格を、一定の慣習的な取引単位に基づいて決めること
- イ. 商品の価格を、長さや容積、重量などの計測単位に基づいて決めること
- ウ. 商品の価格を、運賃や保険料などの負担割合といった、取引条件に基づいて決めること

問2. 下線部(b)の条件で仕入れた場合の仕入原価はいくらか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。ただし、消費税は考えないものとする。

- ア. 57,000円
- イ. 60,000円
- ウ. 63,000円

問3. 下線部(c)の条件で販売した開店初日の売上金額はいくらか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。ただし、消費税は考えないものとする。

- ア. 40,000円
- イ. 160,000円
- ウ. 200,000円

13 次の一連の文章〔Ⅰ〕・〔Ⅱ〕を読み、それぞれの問いに答えなさい。

〔Ⅰ〕株式会社吉花商店(以下、吉花商店)は、みそラーメンが口^{くち}コミで評判となったラーメン専門店である。今までは製^{せいめん}麺業者から麺を仕入れていたが、自家製麺にして、さらにこだわりのみそラーメンを作りたいと考え、新たにラーメン製麺機(以下、製麺機)の購入を検討することにした。

以下は、吉花商店が製麺機を購入する業者を選定し、売買契約を締結するまでの事例を示したものである。

令和元年11月13日 吉花商店は、製麺機を購入するにあたり、取引条件を示し、価格を問い合わせる書類を作成した。そして、この書類を製麺機メーカーとしては定評のある株式会社久我製作所(以下、久我製作所)、株式会社大勝麺機(以下、大勝麺機)に送付した。

11月20日 吉花商店は、それぞれの会社から今回の(a)取引に対する価格の回答の書類を受け取った。

11月22日 吉花商店は、久我製作所と大勝麺機から送付された書類を確認し、社内で検討した結果、久我製作所から購入することを決定した。そして、下記の注文書を作成して久我製作所に送付した。

No. 72			
<u>注 文 書</u>			
令和 元 年 11 月 22 日			
(住所省略) 株式会社久我製作所 御中		(住所省略) 株式会社吉花商店 印	
下記のとおりご注文いたします。			
品 名	数 量	単 価(税込)	金 額(税込)
ラーメン製麺機 NY1205	1	1,320,000	1,320,000
以下余白			
合 計			¥1,320,000
納入期日	令和元年12月20日	運送方法	自動車便
納入場所	買い手指定場所	運賃諸掛	売り手負担
支払条件	着荷・設置後約束手形振出し(支払期日1か月後)		

11月28日 久我製作所の営業担当者は、吉花商店に出向き(b)注文請書を渡し、製麺機を設置する場所の確認をした。

問1. 下線部(a)を何というか、漢字3文字で正しい用語を記入しなさい。

問2. 注文書の内容から、この取引の運賃諸掛はどの会社が支払うか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

ア. 株式会社吉花商店 イ. 株式会社久我製作所 ウ. 株式会社大勝麵機

問3. 下線部(b)の説明として、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 届いた商品を確認し、受け取ったことを伝える書類
- イ. 販売した商品の代金を請求する書類
- ウ. 注文を確認し、承諾したことを伝える書類

文章〔Ⅱ〕とそれに関する問いは、次のページにあります。

[Ⅱ] 吉花商店は、店舗に設置する製麺機の購入先を1社に選定し、令和元年11月に売買契約の締結をすでに済ませている。

令和元年12月になり、店舗に製麺機が設置されることになった。

以下は、吉花商店に製麺機が設置され、代金を支払うまでの売買契約の履行の事例を示したものである。

令和元年12月20日 吉花商店に製麺機が届けられたので(c)注文したとおりの品に間違いがなく、損傷がないことを納品書と照合しながら確認した。

その後、指定した場所に設置してもらった。

吉花商店は、支払条件のとおり、下記の約束手形に必要事項を記入し、収入印紙を貼り、記名・押印後、久我製作所に渡した。

No. 421	約束手形		RE2001	銀行番号 (省略)
収入 印紙 印	(住所省略)	① 殿	支払期日 令和2年1月20日	支払地 (省略)
	¥1,320,000※		支払場所 ③	
印	上記金額をあなたまたはあなたの指図人へこの約束手形と引き替えにお支払いいたします			
	令和元 年 12 月 20 日			
	振出地 (省略)			
	住所 (省略)			
振出人 ②		取締役社長 (省略) 印		

令和元年12月23日 久我製作所は、吉花商店から受け取った約束手形を取引銀行に持参して、支払期日に自社の当座預金口座に入金するよう依頼した。

令和2年1月17日 吉花商店の担当者は、久我製作所に対して(d)振り出した約束手形が、支払期日に当座預金口座の残高が不足して、所持人への支払いが拒絶されることがないように、口座の残高を確認した。

〈資料〉

会社名	取引銀行
株式会社吉花商店	信越銀行長野支店
株式会社久我製作所	一宮銀行上総支店

問4. 下線部(c)の作業を何というか, 次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 提示 イ. 監査 ウ. 検収

問5. 約束手形の ① と ② と ③ に入る組み合わせとして, 次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. ①株式会社久我製作所 ②信越銀行長野支店 ③株式会社吉花商店
イ. ①株式会社久我製作所 ②株式会社吉花商店 ③信越銀行長野支店
ウ. ①株式会社吉花商店 ②株式会社久我製作所 ③一宮銀行上総支店

問6. 下線部(d)何というか, 次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 約束手形の不渡り イ. 約束手形の裏書き ウ. 約束手形の割引

ビジネス基礎解答用紙

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
1					

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
2					

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
3					

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
4					

(**2**は、すべてに同一の記号を記入した場合は5問全部を無効とします。
4は、すべてに○を記入した場合は5問全部を無効とします。)

1~**4**小計

得点

--

	問1	問2
5		商品

--

	問1	問2	問3	問4	問5
6					

	問1	問2
7		

--

	問1	問2	問3
8		システム	

--

	問1	問2	問3
9			

	問1	問2	問3
10			

--

	問1	問2	問3
11			

	問1	問2	問3
12			

--

	問1	問2	問3	問4	問5	問6
13						

--

受験場校		受験番号	
------	--	------	--

総得点	
-----	--

ビジネス基礎模範解答

(各2点)



()内は別解である。

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
①	イ	ア	エ	オ	ウ

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
②	A	B	A	A	B

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
③	ア	エ	イ	オ	ウ

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
④	ウ	○	○	○	エ

(②は、すべてに同一の記号を記入した場合は5問全部を無効としてください。
④は、すべてに○を記入した場合は5問全部を無効としてください。)

①~④小計

得点

40

	問1	問2	
⑤	イ	プライベートブランド (PB)	商品

4

	問1	問2	問3	問4	問5
⑥	イ	ア	ア	イ	ウ

	問1	問2
⑦	ア	ウ

14

	問1	問2		問3
⑧	ア	ユニットロード (ユニット・ロード)	システム	ウ

6

	問1	問2	問3
⑨	ウ	ア	イ

	問1	問2	問3
⑩	イ	ウ	ア

12

	問1	問2	問3
⑪	ア	イ	ウ

	問1	問2	問3
⑫	ア	ウ	イ

12

	問1		問2	問3	問4	問5	問6	
⑬	見	積	書	イ	ウ	ウ	イ	ア

12

総 得 点	100
-------------	-----